



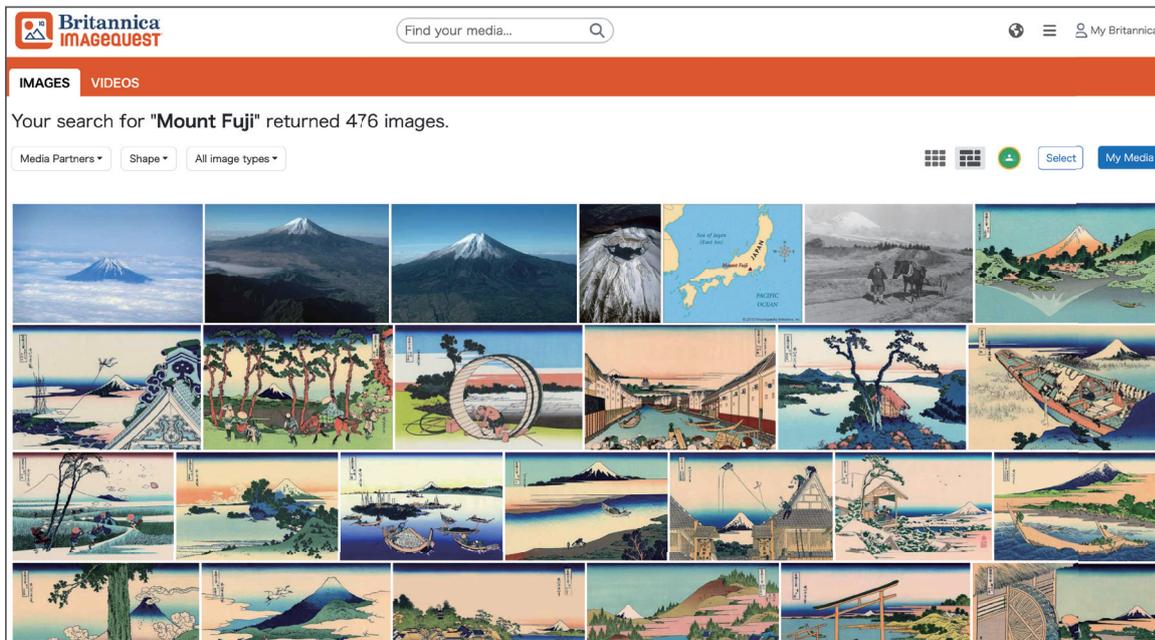
富士山をめぐるPR文をつくってみよう

関連教科 国語 (目的にあわせて文章をまとめる) / 地理 (地図情報や文字情報から地域の特徴を把握する) / 美術 (絵からさまざまな情報を見つける)

古くから山容の美しさが讃えられている富士山。富士山が描かれた「浮世絵」の場所をだれかが訪れることを想定し、地域の歴史や特徴を織り交ぜながら、その場所から見える富士山の魅力を文章で伝えてみよう。

生徒の活動

- 1 Britannica Image Quest に「Mount Fuji」と入力すると、現在の富士山の写真以外に浮世絵（『富嶽三十六景』など）や関連画像がたくさん出てくる。その中から自分の気に入った浮世絵を選ぶ。
※右上の地球マークをクリックして日本語に切り替え、「富士山」で検索しても同様の結果が得られる。
- 2 選んだ浮世絵がどこで描かれたものかを画像やキャプションから特定し、現在の都府県のどの市区町村、あるいは地域にあたるのか調べる。



- 3 浮世絵をよく見て以下を箇条書きにしてまとめよう。
 - ・絵の中の富士山はどのように見えるか（大小や色、雪の有無や印象など）。
 - ・富士山以外に何が描かれているのか（情景や特徴などもあわせて）。
- 4 現在の地名など、ブリタニカ・オンライン・ジャパン（BOLJ）やインターネット、地図などで調べる。BOLJで項目がヒットしない場合は全文検索を試みるのもよい。調べたら土地の地理や歴史、現在のようすについて、なるべく多くの情報を集めよう。
- 5 上の③でまとめた情報と、④で収集した情報を取捨選択あるいは組み合わせ、浮世絵の描かれた場所のPR文を200～300字程度にまとめてみよう。その際、「富士山を眺めることを前提にする」「土地の歴史には必ずふれる」こと。余裕があれば、思いついた語をBritannica Image Questで検索し、関連写真を組み合わせて説明してもよい。



例) 『富嶽三十六景』 「東海道金谷ノ不二」 選んだ場合

1 『富嶽三十六景』 「東海道金谷ノ不二」 を選択

Mount Fuji で検索し選んだ浮世絵



View of **Mount Fuji** from Kanaya on the Tokaido Created by Nakajima Katsushika

Kanaya で検索して出てきた写真



Carefully trimmed rows of tea shrubs on tea estate, **Kanaya**, Shizuoka area, Honshu, Japan, Asia

2 場所は「金谷」（静岡県島田市）

3 絵の中の富士山はどのように見えるか

大きな川のずっと向こうで小さい／雪を頂いている／富士山の裾野は見え山が森らしきものが広がっている

富士山以外に何が描かれているのか

川の向こうに宿場町／桜と思える木がある（季節は春か）／波の荒い川を多くの裸の労働者が旅人や荷物を肩車や荷台などで運んでいる／大名のような身分の高い人の乗る荷台や荷物もある

4 ブリタニカ・オンライン・ジャパンの「金谷」「島田市」、およびインターネット上の地図で調査。さらに「Kanaya」で検索してヒットした画像を組み合わせる。

5

現在の静岡県島田市南西部にある金谷地域は、日本有数の茶の産地である牧之原台地の北側と大井川に挟まれた場所にあります。江戸時代には、橋がかかっていなかったこの川を多くの労働者が、肩車したり荷台に乗せたりするなどして人や荷物を運ぶなど、重要な渡河地点の役割を果たしていました。現在は橋もかかり、東海道本線や大井川鉄道、国道1号線も通り、たいへん便利になりました。水量を増した大井川と赤石山脈の峰々の背後から顔をのぞかせる、雪をいただいた春の富士山。その美しい姿を是非見にいらしてください。(242字)

活動時のアドバイス

- 生徒一人でもよいが、グループで絵の魅力を見出したり土地の情報を探し出したりする作業のほうが楽しいと思われる。
- ひとつひとつの事実関係の確かさにこだわらず、集めた情報を組み合わせて、まずは読む人をひきつける文章を書くことに努める。
- 江戸時代のことではあるが、なぜこの場所から富士山が描かれたのか、実際に描いた人は何に魅力を感じていたのかを、生徒に想像してもらう。
- 地図（印刷本やインターネット）を活用すると情報や想像の幅が広がる。